

大増税許さぬたたかいこれから

伊那民報

運動と世論で参院で廃案に

発行
日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
有線も(72)2465

「国民生活を打ち砕く暴挙だ」「悪法を重ねる密室談合は許さないぞ」 全国で怒りの声が上がるなか、26日、民主、自民、公明3党は、消費税を10%に引き上げ、社会保障の大改悪を押し付ける「一体改革」関連法案を、衆院本会議で採決を強行し、賛成多数で可決しました。



26日午後 商店街で、強行採決に抗議し、廃案への決意を表明する三沢よしお5区候補(左から3人目)

力合わせ廃案に 日本共産党

日本共産党は、3党が密室談合で修正・新法案の8つを、わずか13時間余の審議で、公聴会も開かず強行したことに強い怒りを持って抗議し、「たたかいはこれから」

参院で廃案に追い込む」と表明し、全国の駅前や街頭で宣伝行動などに打って出しています。

三沢候補らが街頭で訴え

党伊那市委員会は、26日午後、民・自・公の3党が、消費税増税法案を衆院で強行採決したことを受け、街頭宣伝に出ました。

首相官邸前の抗議行動へ!

4万5千人とともに

衆議院比例代表予定候補

藤野やすふみ

福井市での行動を終えて、特急と新幹線で首相官邸へ。今日は、原発問題での首相官邸包囲行動の日。雰囲気だけでも感じたいと思い駆けつけました。

官邸前には、夜8時30分ごろ到着。階段を駆け上がりました。

「音」での訴えは聞こえませんが、官邸前には、大勢の人、人、人!

宣伝行動は、三沢よしお5区候補と党市議らが、JAやアピタ前、通り町、伊那北駅前で、党青年後援会員らが西友前、西町、城南町などで訴えました。「応援するぞ、頑張り」との声援や家からとび出てきて聴き入る人、握手を求めたり、手を振る等、激励が多く寄せられました。党市委員会は、引き続き宣伝行動を強めるとしています。

7・16国民大集会、代々木公園にGo!

首相官邸は、かつての職場(国会秘書時代)。そこが、

抗議者(プロテスター)、とりわけ若者で埋め尽くされるなんて、「ありえない」事態です。知人の若者に「何人集まったの?」と聞くと、「4万5千からしいです」とのこと。すごい。首相官邸前ですから。他国なら、「クーデター」とかで報道される規模でしょう。

今、運動が、全国各地で繰り広げられています。今日感じた力を国政変革へ。三沢5区候補や北陸信越のみなさんと、議席めざして全力を尽くします! (6月22日記)

地 蜂

先月はじめの「伊那のぞみの会」の八回目の政策研究会は、マイクロバス2台での栄村の見学だった。栄村は、東日本大震災の直後、三月十二日、震度6強の大地震に見舞われた。新潟県に隣接し、「合併するならお隣(新潟県の)津南町に」という住民の声も出ていたほどの場所だ。「積雪3~4メートル」は新潟の山間地の気候風土によく似ている。「どうして東北から離れた長野県北端の地で?」と考えてしまいが、「長野の地震入門(しなのき書房)で塚原弘昭氏は「東北地方太平洋地震により誘発されたと考えられている」とはっきりと書いている。序の中でだが、この本をひと通り読むと、どの地でも今後とも、いつ地震と原発の災害に見舞われるかわからない共通環境の下で暮らしていることがリアルにわかってくる(一読あれ)。現在五〇戸以上の仮設住宅で暮らしている人々のところに、議会事務局の広瀬氏に案内され、また、昼食を共にしながら元村長の高橋彦芳氏のお話をお聞きし、質問もさせてもらった。例えば「田直し」、村の臨時職員がその場で農家や住民と協議をして住民が作業しやすいように考慮しながら、設計図を作らずに仕事を進めたという。「下駄はきヘルパー」は、集落住民自らが資格を取って、ワーキングチームをつくって地域の介護にあたるシステムという。このような、地域に根づく共同体の良さを十分に活用する施策発想を貫く長年の取り組みと、「小さくても輝く自治体」の職員の献身が、今度の震災からの立ち直りに大いに役立っていることだった。その取り組みの基本をもっと学びたいものである。

土地取得の「異常」認め、契約解除へ

開発公社の土地問題で共産党市議団迫る

6月12日、市議会一般質問で飯島光豊市議（共産党）は、伊那市西町の畑395m²を市土地開発公社が、宅地並み価格の863万円で取得し、代金を支払ったものの、農業振興地域内にあり、宅地転用が認められず、いまだに公社への所有権移転登記が完了していないことを「異常」と指摘しました。土地所有者は、小坂榎男前市長の後援会長でした。また、西春近小出3区の原野約760m²を、760万円で取得したものの、減損処理によって評価額を2万3560円にしていること。さらに、美篁青島の、出入口道路がない宅地1136m²を約3959万円で取得したのに、最近になって約1312万円で値引きして公売にかけられていることも「異常」と指摘しました。

異常な取得を内部調査

これについて、白鳥市長は、「契約解除も含め適切

西町の公社保有地 契約解除・返金へ

6月22日、伊那市議会全員協議会で、酒井副市長は、西町の保有地（畑）395m²について、前所有者との間で契約解除・返金の協議をおこなっていると報告しました。竜東のIさんは、「返されるお金は、福祉など、市民に有効に使われるようにしてほしい」と話していました。

「震災後の栄村に学ぶ」

6月4日、「のぞみの会」は36名の参加で、震災後の栄村と飯山の「高橋まゆみ人形館」を見学しました。「小さくても輝く自治体」として平成の大合併に抵抗し、自立する道を選んだ栄村の独自の住民本位の施策 田直し事業（圃場整備）、道直し事業、げたばきヘルパー、雪害対策救助員事業、デマンド交通システムなどを、バスの中で事前学習。

増税・原発再稼働一、国民の声を国会に届ける共産党の議席を

総選挙勝利をめざし、北陸信越ブロック5県の共産党は、21日、藤野やすふみ衆院比例候補、三沢よしお5区候補、地方議員、党支部が一斉に街頭宣伝しました。

伊那では、大萱、中央区、美篁新山入口、春近大橋153号線の各交差点の4カ所できりくまれ、14日午後の商店街での訴えと合わせ市民に大きくアピールしました。



21日早朝 中央区で宣伝する伊那市議と支部の党員たち

のぞみの会が訪問

元村長の高橋彦芳さんは、「大地震にも関わらず死者や大きなけが人もなく、全員無事に避難することができたのは、住民同士のつながりがあつたから。また、家や田の復旧事業は、村民を臨時職員として雇っておこない、雇用も確保しながら住民の意見を尊重して進めている」など、「住民自治を大事にする」必要性について強調しました。

「日本共産党に入って
平和で住みよい日本を
共に作りましょう」
日本共産党伊那市委員会

今年7月15日、日本共産党は創立90周年を迎えます。かつての戦争の時代に、侵略戦争反対・主権在民を主張したたかったことは国民の誇りです。

戦後から続く「財界中心・アメリカいなり」の「2つの害悪」を断ち切る日本の民主的改革が、いま求められています。増税強行など野田政権が行き詰まり、いつ解散・総選挙になってもおかしくない情勢です。総選挙や来年7月の参議院選挙での、日本共産党の躍進こそ、ゆきつまった日本の政治改革を国民の立場で一步一歩進めていくことができると思います。

みなさんが日本共産党員になっていただくことがなにより力です。この歴史的時代に日本共産党の一員としての生きがいある人生を、ともに歩まれることを心からよびかけます。

連絡先：党地区委員会

72 2465



原発NO！ 2回目のデモ

駒ヶ根市役所を進行、「さよなら原発上伊那の会」

6月10日、駒ヶ根市役所に集合したおよそ200人は、老若男女・犬も参加して、たいへん多彩でした。幅広い人たちが、原発を無く



持ち物にも工夫を凝らしたデモ参加者

したいという思いを抱いて、いることが、わかるとなるデモになりまし。また、中川村曾我村長や

駒ヶ根市長のメッセージを携えた総務部長の挨拶があったり、飯島町長からのメッセージが届いたり自治体への広がりもありました。

実行委員のKさんは、「初めての参加だけど、同じ思いの人がたくさんいてすごい。沿道の人の応援がうれしかった。こういう活動をつなげて大きくして、国に声を届けたい」と話していました。

原発ならさようなら
10万人集会
7/16



窓の市議

市長初の「反問権」 飯島光豊

白鳥市長が反問権を行使した初めての相手が私だった。反問権は、市長が議員の一般質問の際、より深い政策論議をするために議会基本条例で市長に認められたもの。市長は私に異常な土地取得を追及される質問の出鼻をくじく作戦

だったか、「『異常』とは議員の主観ではないか」と反問権を悪用してかわそうとした。どうこいそれはお見通しと「それなら（客観的）証拠をお見せしましょう。」と違反の土地売買契約書をパネルにしてドーンと示

す。これで勝負あった。反問権は今後、市議会では再検討される。



昭和初期の上伊那

2・4事件の頃

侵略すること火の如し

共産党や民主勢力への弾圧が長野県をはじめ全国に吹き荒れていた頃。一方では中国大陸への侵略が着々と進められていきました。一九三二年（昭和六年）九月一八日の夜、関東軍は奉天郊外の柳条湖で満鉄の線路を日本軍の手で爆破し、それを中国軍の仕業たとして東北部（満州）への軍事侵略を公然と拡大、翌三年一月には海軍陸戦隊が上海を占領した。「上海事変」、三年には満州の枠を広げて中国の熱河省へ侵入、万里の長城を越えて華北にまで進出しました。そして、この間に「満州国」という傀儡（か）（らしい）国家を作り上げ、日本の侵略行為を非難する国際連盟から脱退していきま



偽「満州国」の皇宮（中国・長春）

の大弾圧にのぞんだ長野県の特高警察の並々ならめ意気込みが特高文書に記録されています。少し長いものですが紹介します。なお、カタカナや旧字体など読みにくい部分は手直ししてあります。

「長野県下の共産主義運動は、曉民共産党、第二次共産党の一連としての大正十一年一月下伊那郡下に結成せるLYL事件以来、青年団、高等学校はあたかもその温床の観を呈したり。すでに述べてきたとおり各種の検挙の先例を経て、その運動の巧妙さといまつてますます先鋭化し大衆性を把握しつつありしが、時あたかも当時の一般経済の状況は、昭和五年以来極端なる恐慌に見舞われつつあり。県民の経済の基本たる繭（まゆ）（価）は大正七、八年には買当り（3・75kg）十、二、三円の生活に慣れたる農村に買当り一、二円の下落を急激ならしめ、各地製糸場の倒産、工場資金の不払いの続出、金融機関の通塞（とんさく）出現し、各村の財政の行き詰まりは教員給与の不払い、教員給割寄付問題、欠食児童の激増寺民経済の窮迫は昭和六、七年において最高潮に達せり。」（『特高警察が見た戦前長野県社会運動』より）（以下次号へ）

境区 有賀光良

伊那谷の歴史散歩

戦争を進める支配層にとって、国民の自主的な運動の発展は到底許すことのできないものとして写りました。こうした時代背景の中で引き起された「2・4事件」

【傀儡（か）らしい】 操り人形、くくつのこと。かいらい国家とは他国の意のままに操られる、見せかけだけの国家。
【LYL事件】 大正十一年、下伊那の青年たちが組織した社会主義運動の団体。翌年一斉検挙されて解散。LYLはリベラル・ヤング・リーグの略

随想

朝の散歩

高尾町 山崎 桂子

健診等の折によく「健康のために何かしていることがありますか」ときかれます。今までは「特に何もしていません。」と答えていたのですが、最近、4年くらい前から始めた早朝の散歩をあげています。

愛犬と一緒に午前5時過ぎに起きて、1時間近く歩きます。夜型人間だったので、朝型に切り替えるのは、最初は辛かったのですが、加齢と共に、肩・腰・膝と故障箇所がふえ、できるだけ体の筋肉を鍛えることで、中古車のような体を動かしてみようと、一番お金のかからない「歩き」をはじめ、一日の大切な日課としました。

歩いてみると、いろいろと良いことや感動がたくさんありました。冬は寒くて手袋を二重にはめても凍えるような日もありますが、途中、田んぼ道で全身のストレッチ体操を、歩いたり止まったりしてすると体が結構暖かくなります。犬のヒモを放してするのですが、犬が待っていてくれて、また一緒に歩きます。

早朝だからこそ出逢える狐や狸、リス、雉等の動物や鳥に一瞬ですが出逢えたりして、ちよつとワクワクした気分になります。わらびやよもぎもつんだり、イナゴのいる場所を見つけて後日に行ったりと、これも楽しいことです。また、田植え時の水田には、中央アルプスの頂きに雪を真っ白にかぶった雄大な景色が広く鏡に映し出され、思わず足を止め見とれてしまいます。

この伊那谷に住み続け、四季を通じて変化する素晴らしい自然と共に生かされていることに胸がいっぱいになります。足腰の続く限り、この自然を満喫しながら爽快に歩き続けたいと思っています。

借し案内

東北被災地支援者募集中 (第15次)

- ・ 7月7日(土)~9日(月)
- ・ 食料・生活必需品・募金など
お寄せください。
- ・ 連絡先：日本共産党上伊那地区委員会
TEL 72-2465

NEC住民訴訟第4回口頭弁論

- ・ 7月12日(木)午後2時長野地裁にて
午前11時市役所駐車場集合
- ・ 連絡先：市川 (TEL 73-2928)

党創立90周年記念集会

- ・ 7月14日(土)午後6時
- ・ 場所：西町公民館
- ・ 主催：日本共産党上伊那地区委員会

さよなら原発10万人集会

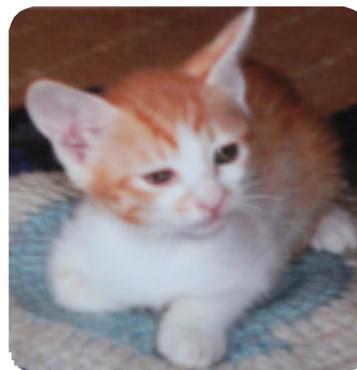
- ・ 7月16日(月・海の日)
- ・ 代々木公園
- ・ 上伊那からバスが出ます
- ・ 申し込みは7月7日までです
- ・ 申込先：日本共産党上伊那地区委員会

のぞみの会総会

- ・ 7月22日(日)午後3時~
- ・ 場所：JAフラワーパレス
- ・ 連絡先：井口 (TEL 74-5826)

絵手紙

東春近 酒井 夏枝

ボクたちを
もらってください

- ・ 生後1ヶ月
- ・ オス 3匹います
- ・ 連絡先
飯島光豊宅
TEL72-8487